

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【公開番号】特開2015-163542(P2015-163542A)

【公開日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2014-39577(P2014-39577)

【国際特許分類】

B 6 5 H 5/02 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

B 4 1 J 11/70 (2006.01)

B 2 6 D 7/18 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 5/02 M

B 6 5 H 5/06 B

B 4 1 J 11/70

B 2 6 D 7/18 E

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月8日(2017.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートを搬送する搬送手段を有するシート搬送装置であって、

前記搬送手段は、水平面に対して傾きを有する斜面と、前記斜面の垂直方向における下方先端に配置された従動面と、前記斜面および前記従動面との間に垂直方向において下方に向かうほど狭くなる空間を形成し所定の方向に移動する搬送面と、を有し、前記従動面は前記搬送面の移動に従動し、

前記搬送手段は、前記斜面上のシートを前記搬送面と前記従動面とにより挟持して前記搬送面の移動により前記所定の方向に搬送することを特徴とするシート搬送装置。

【請求項2】

前記搬送面は、前記所定の方向に移動するベルトの面であり、

前記従動面は、前記所定の方向に回転自在な回転体の側面であり、前記搬送面と当接可能に構成されており、

前記斜面上のシートを前記ベルトと前記回転体とで挟持することにより前記所定の方向に搬送することを特徴とする請求項1に記載のシート搬送装置。

【請求項3】

前記搬送手段は、前記所定の方向と交差する方向から搬送されてきたシートを、前記斜面により誘導し、前記ベルトと前記回転体とで挟持することにより、前記所定の方向に搬送することを特徴とする請求項2に記載のシート搬送装置。

【請求項4】

前記回転体は、垂直方向において下方に向かうほど径が大きくなる形状を有することを特徴とする請求項2または3に記載のシート搬送装置。

【請求項5】

前記斜面の前記下方先端は、前記所定の方向の上流側に向かうほど、垂直方向において

下方に位置付けられていることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置。

【請求項 6】

前記搬送面と前記斜面との間隔は、前記所定の方向において下流側に向かうほど狭くなることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置。

【請求項 7】

前記回転体は、前記所定の方向において前記斜面の中央から下流側に配置されることを特徴とする請求項 2 から 4 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置。

【請求項 8】

シートを切断する切断手段と、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置と、を備え、

前記切断手段により切断されたシートを前記シート搬送装置により搬送することを特徴とするシート切断装置。

【請求項 9】

シートに対して画像を形成する画像形成手段と、シートを切断する切断手段と、請求項 1 から 7 のいずれか 1 項に記載のシート搬送装置と、を備え、

前記切断手段により切断されたシートを前記シート搬送装置により搬送することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 10】

シートに対して画像を形成する画像形成手段と、請求項 8 に記載のシート切断装置と、を備え、

前記切断手段により切断されたシートを前記搬送手段により搬送することを特徴とする画像形成装置。